

令和5年2月28日

保護者の皆様

千代田区立番町幼稚園
園長 中村 千絵

令和4年度 千代田区立番町幼稚園 保護者アンケート結果報告

日頃より本園の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

さて、先般実施させていただきました幼稚園教育に関するアンケートにつきまして、ご協力をいただき、ありがとうございます。今回のアンケートから見えてきた課題をしっかりと受け止め、また、評価いただいている部分に関しても更なる充実を目指し、今後の教育活動に活かしてまいります。引き続きご支援、ご協力のほどお願いいたします。

【アンケート結果の概要】

○保護者アンケートについて、95%のご回答をいただきました。

- ・ 幼稚園の教育に対して関心をもっており、温かいご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございます。保護者の方全員からご回答をいただいたことに厚く感謝を申し上げます。

○全項目において、90%以上の方からよくあてはまる、または、だいたいあてはまるの評価をいただきました。

- ・ 幼稚園の教育について肯定的な回答をいただき、ありがとうございます。十分でないと感じているご意見を真摯に受け止め、改善に向けて努力してまいります。また、分からないというご回答については、園からの情報発信を工夫し、園の教育の内容が伝わるようにしてまいります。

○全項目の中で特に高い評価をいただいた項目は、特色ある教育活動の中での「自然大好き」です。

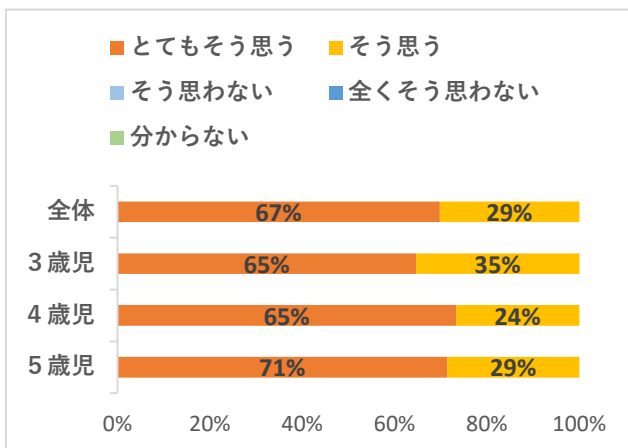
- ・ 「生き物や植物、季節の野菜が育っていく過程等、毎日変化を感じられてありがたい」「遠足での専門家とともに自然を散策し、楽しそうに発見したことを教えてくれた」等のご意見をいただきました。今年度より、遠足の際に、自然に造詣の深い大学の先生等にご同行いただき、自然の不思議さや虫・小動物の命の営みについて教えていただきました。来年度も、継続してまいります。

1 保護者アンケート結果

A…とてもそうおもう B…そう思う C…そう思わない D…全くそう思わない ?…分からない

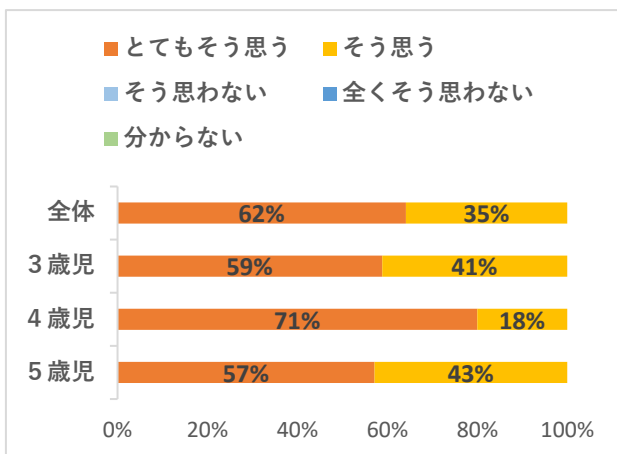
I 指導の重点について

1 特色ある教育活動「心も元気 体も元気」



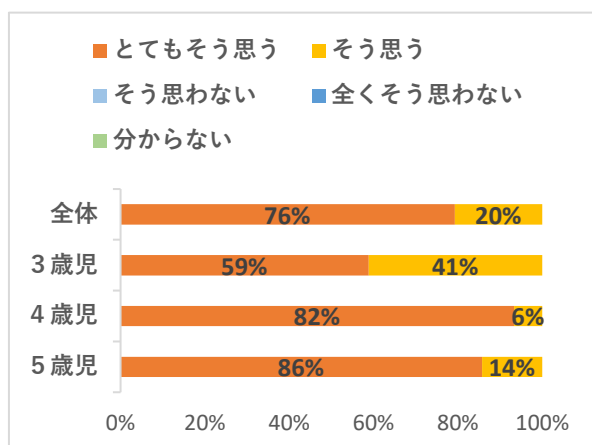
「スポーツタイムで楽しそうに体を動かして踊っている。」「幼稚園を楽しみにして楽しそうに通っている姿を見てそう感じている。」「参観時のスポーツタイムで思いきり体を動かしているのを見て、素晴らしいと思った。」など温かいご意見を多数いただきました。今後も、小学校から借りている時間の校庭や講堂などを活用して、広い場所で体を動かす時間や、限られた場でも体を動かす楽しさを十分に味わえる保育の工夫をしてまいります。

2 特色ある教育活動「日本を知ろう 世界を知ろう」



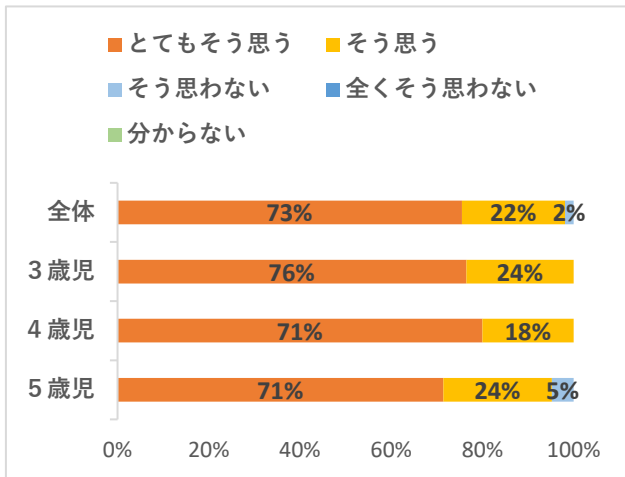
「中華学校の方の演目やフラメンコ鑑賞は圧巻だった。子どもたちも世界の文化を知ることができたと思う。」「誕生会や新年の際には和楽器や獅子舞に触れさせていただき、日本の文化に触れていると実感している。」「SDGsの事を目に届く場所に展示してくださっている。」等、様々な意見をいただきました。特に子どもたちと一緒に参加していただいた中華学校との交流については多くのご意見をいただきました。また「世界については足りないと思う」というご意見もありました。来年度は行事に限らず、園内環境や日々の保育の中でも子どもたちが世界の文化に触れたり、関心をもったりできるような保育を展開してまいります。

3 特色ある教育活動「自然大好き」



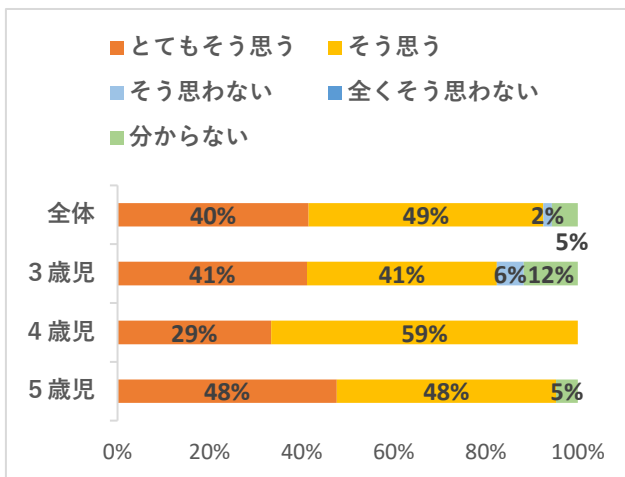
「生き物や植物、季節の野菜が育っていく過程等、毎日変化を感じられてありがたい。」「園で毎日会えるアヒルのホワホワとの触れ合い、街中とは思えないくらいたくさん自然に触れ合えていると思う。」「遠足での専門家とともに自然を散策し、楽しそうに発見したことを教えてくれた。」等のご意見をいただきました。引き続き、園内の自然環境や、遠足を活用した自然との出合いを大切にしていきます。

4 保護者と共に子どもを育てる『共育』を進める



「親子で遊ぼうを、コロナ禍でも実施できてよかった。」「降園時に先生からの連絡事項や本日の取り組みなど直接聞ける上、すぐーるでの連絡もこまめに行っていただき分かりやすくスムーズだった。」とご意見をいただいた一方で、「もっと保育中の子どもの様子が知りたい。」「少人数の参観の時には、他学年の様子も少し参観できると嬉しい。」というご意見もありました。次年度、参観ウィークで少人数での参観時は他学年も見られるような工夫を行っていかうと考えています。また、特に預かり保育を利用している場合の保護者の方との情報共有は課題であると感じています。お子さんの様子を伝える機会を設けらえるような工夫を考えていきます。

5 地域と共に子どもを育てる『共育』を進める

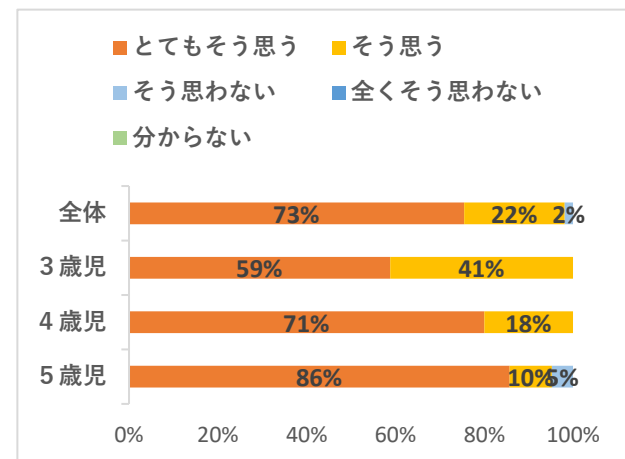


「小学生との交流が楽しかったと家庭でよく話をしていた。」「コロナ禍の中でもできる限りの事をしてくださっていると思う。」「小学生との交流によって自分がこんなふうになるのかという期待をもち、小学校への進学が楽しみに感じることもつながっているように思う。」と温かいご意見を多数いただきました。一方で今年は番町子ども会が中止になるなどがあり「地域行事がどういったものがあるのかかわからない」というご意見もありました。

II 教育活動全般について

6 教育目標「考える子」

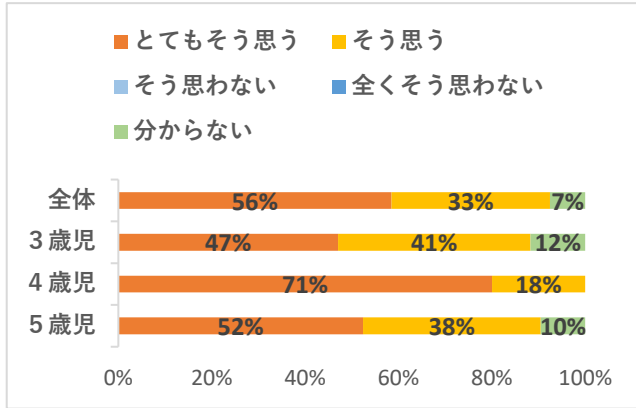
- ③お子さんは、園生活を楽しむ中で、好きな遊びを見つけて、自分で考え取り組んでいる。
- ④遊びの中で工夫したり、試したりすることを楽しんでいる。
- ⑤行事や遊びの中で、自分の考えをもち、目的に向かって力を発揮しようとしている。



「好きな遊びをのびのび生活していると感じます。(3歳児)」「毎日の好きな遊びが大好きで、自分たちで考え、工夫し、没頭して遊べる環境があることがとてもよいことだと思う。(4歳児)」「自分には何ができるのかを考え提案できるようになった。(5歳児)」などのご意見をいただきました。また、「映像に頼りすぎずに、自分たちなりに考えてほしい」というご意見もいただきました。ICTの活用の仕方を幼児の興味や関心、実態に応じて取り入れ、教育的価値を考慮しながら、効果的に活用ができるよう努めてまいります。

7 教育目標「思いやる子」

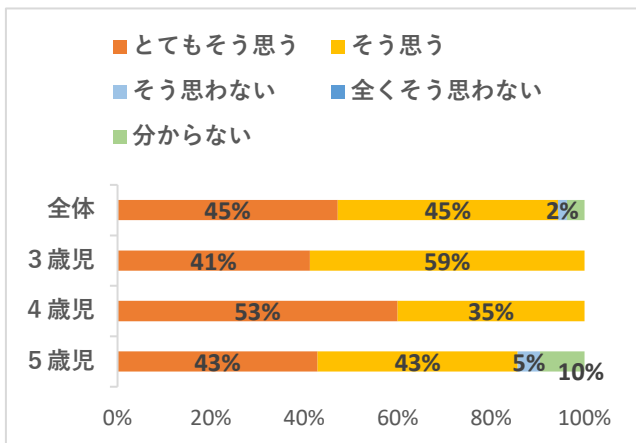
- ③先生や友達と遊ぶことを楽しむ中で、自分が大切にされていることを感じている。
- ④友達との考えや気持ちの違いに気付きながらも、遊びを楽しみ、自分の思いを相手に伝えている。
- ⑤自分の思いを伝えるとともに、相手の理解を理解し、相手を大切にしようとする気持ちをもって、友達との遊びを楽しんでいる。



「友達との関わり合いの中で、楽しいこともあれば、悲しい気持ちになる事もあると思うが、やり取りを通して自分の気持ちを伝えることや、相手の気持ちになってみるということを学んでいると思う。(3歳)」「友達との考えや気持ちの違いを言葉に出せるようになってきた。自分の気持ちを伝えるのではなく、相手の気持ちを想像して〇〇ちゃんはこう思ったのかな…とお話をしてくれる姿に成長を感じる。(4歳)」「今までは自分を最優先にしていたのが、お友達のことも考えられるようになった。(5歳)」など温かいご意見を多くいただきました。引き続き、学級の友達や他学年の友達との関わりを大切にしていきたいと思います。

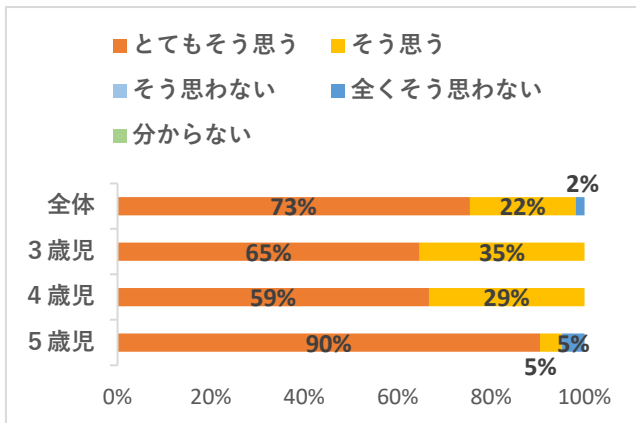
8 教育目標「やりぬく子」

- ③遊びや生活の中で、「自分のことは自分でする」ことが分かり、自ら遊ぼうとしている。
- ④自分でやりたい遊びを見付け、遊びを実現するために、あきらめずに取り組もうとしている。
- ⑤少し難しく感じられることに対しても、挑戦しようとする気持ちを持ち、自ら取り組もうとしている。



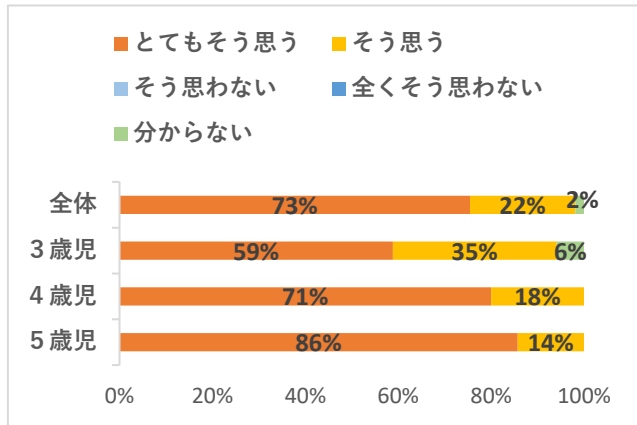
「できないこともたくさんあるが、しようとする過程、不安の受け止めなど時間をかけてもらいたい。(3歳)」「やりたい遊びがあると、友達に声を掛け、粘り強く準備を行っている。そういった事が実現できる環境や、過程を与えてくださり、感謝している。(4歳)」「何事も一回やってみようと思わせる声掛け、これもチャレンジしてみようという気持ちをもたせてくれる教育をしていただき、感謝している。日々自信をもって何事も取り組んでいる。(5歳)」などのご意見を多くいただきました。引き続き、子どもたちの『やってみよう』の心を大切に、それを支える遊びの環境を保障し、一人一人に寄り添った援助をしてまいります。

9 園は、一人一人の子どもの思いや行動を受け止めようと努め、子どもたちが安心して自己を発揮できるよう、温かく指導・援助している。



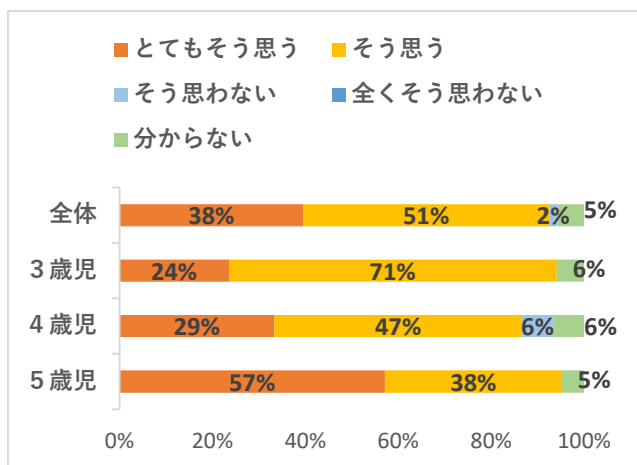
「とても温かい、安心できる信頼関係を築いていただきありがとうございます。」「毎日の優しい声掛け、子どもの気持ちを受け止めつつ提案して下さる姿は本当に感謝しています。」など温かいご意見を多数いただきました。また、「優しい先生方に子どもが甘えすぎてしまうとを感じる部分も多少ある」というご意見もいただきました。幼児期の子どもたちにとって、ありのままの姿を受け入れる大人の存在はとても重要です。一人一人の言動をありのまま受け止め、気持ちに寄り添ってまいります。不安や疑問に感じる事がございましたら、いつでもお声掛けください。

10 園は、子どもたちが主体的に遊びに取り組めるよう、自然の不思議さと出合える環境、製作等の表現が楽しめる環境、イメージをもってごっこ遊びが楽しめる環境を用意している。



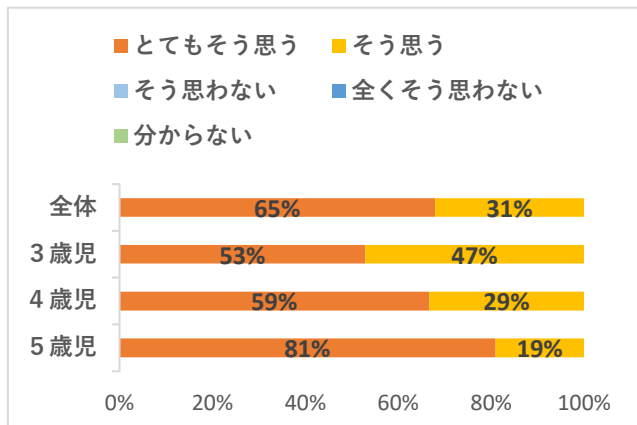
「たくさんの廃材を利用し、自分の興味をもった時に作れるような環境が用意されていることに驚いている。」「廃材を使った工作が大好きで、夢中になって何かに見立てた作品を作っている。」などのご意見をいただきました。また、「具体的にどのような環境を示しているのかわからない。」というご意見もいただきました。参観時の説明や、降園時の写真掲示、学年だよりなどで、園の意図していることを分かりやすくお伝えできるように心掛けていきたいと思えます。

11 園は、互いの違いに気付いたり、諸外国の文化や多様な価値観に触れられたりするような環境設定や援助をし、子どもが受け入れ合い、認め合う態度や人権感覚が身に付くように指導している。



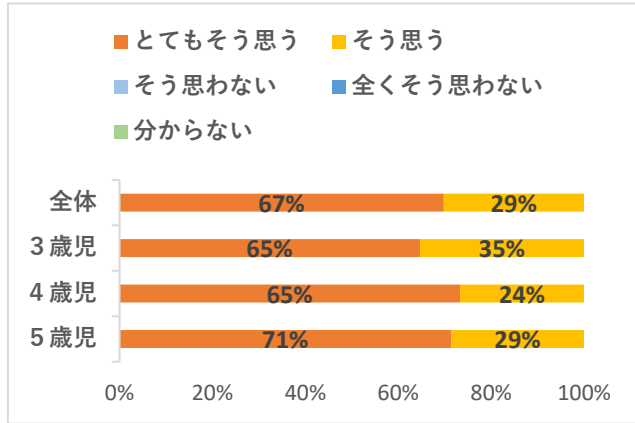
「幼いころから異文化や様々な価値観に触れることで偏見のない感覚が培われていると思います。」「国籍や個々の状態に関係なく、平等に関わっていることが素晴らしい。」「子どもたちに優劣をつける感覚がないので、子どもたちも互いに認め合っているように思う。」などご意見をいただきました。様々な友達や様々な立場の人に触れる中で、一緒に過ごす心地よさ、やりとりする楽しさを感じられるような保育を工夫していきたいと思えます。

12 園は、併設する施設(校庭や講堂等)を有効的に活用したり、小学生との交流を計画的に実施し、小学校への円滑な接続のための連携を図ったりしている。



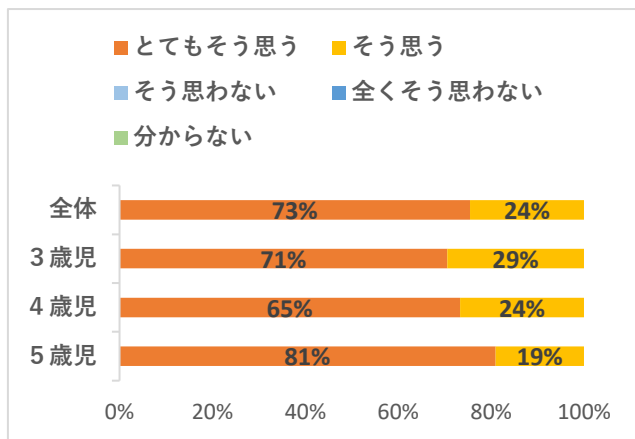
「小学生との交流を通して、憧れの気持ちをもったり、自分もそうなりたいという気持ちが育っている。」「校庭やプール、講堂など小学校の施設を使わせてもらい、のびのびと遊ぶことができることはありがたい。」というご意見を多くいただきました。小学校が併設している環境を生かしながら、幼小の教職員同士、園児児童同士の交流を計画的にしていきたいと思います。

13 園は、毎月の避難訓練や、麴町警察等と連携した安全指導を実施し、安全のために必要な習慣や行動を身に付け、自分の身を自分で守る力を育てる教育をしている。



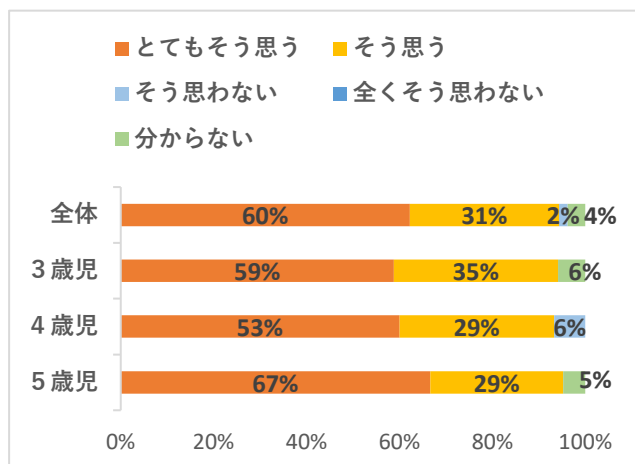
「実際に地震が起きた時に適切な行動をとっていたので、日ごろの訓練の成果が出ている。」「実際に麴町警察署の方が直接ご指導して下さいたことが印象に残っていて、防災意識が高まっていると思う。」といった多くご意見をいただきました。今後も計画的に様々な想定での訓練を実施していきます。また、麴町警察と連携を図り、子どもたちへの安全に対する指導を行っていきます。

14 園は、幼稚園だよりや学年だより・保護者会・掲示板を活用した活動の様子や掲示等、教育方針や子どもたちの様子を分かりやすく伝えている。



「掲示板に写真や映像で掲示していただき、幼稚園での様子が分かりやすい。」「園だよりは幼稚園の雰囲気が伝わる、月目標や行事スケジュールが分かりやすい。」「園だよりやクラスだよりなどがすぐ配られてとてもよかった。」というご意見をいただきました。日々の掲示、降園時連絡だけでなく、すぐるなどのツールを利用しながら、幼稚園での様子を分かりやすくお伝えしたり、円滑なコミュニケーションを図ったりしていきたいと思えます。

15 園は、「にこにこ図書」や「愛児会報そらにおかっの発行」等の活動に協力し、子どもにとっても保護者にとっても、園生活が充実したものとなるよう、愛児会と連携を図っている。



「愛児会はオンライン化が進んだことでより円滑になった。」「保護者の想いを汲んでいただき活動がしやすくありがたい。」「愛児会や様々な活動を通して、私個人として勉強になることばかりだった。番町幼稚園の保護者になることが出来て、本当によかった。」と温かいご意見をいただきました。

「連携はしっかり図ってくださっていると感じますが、家族の在り方、家庭の中の役割も昔とは少しずつ多様化してくる中、保護者の活動自体を簡略化していく方向で、園主導で動いてくださると、より変わりやすいと感じております。」というご意見もいただきました。進め方については、保護者の方の負担のないように、簡略化を図るなど、取り組みやすい方法を一緒に考えていきたいと思えます。

<p>16 預かり保育に対するご感想、ご意見等。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「すぐーるで申し込みができるのは、使いやすくてとてもよい。」というご意見があった一方で、「いつ申し込んだのか見返せるようにしてほしい。」というご意見が多くありました。すぐーるの運営会社にアンケート結果を見返せるシステムの要望をしましたが、まだそのようなことはできないそうです。お手数ではございますが、申し込みをしましたら、カレンダーや手帳等にご記入するか、スクリーンショットを撮るなどしていただきますようお願いいたします。また、園にご連絡くだされば確認いたします。 ・「延長保育よりも普通の保育に重点を置いていただきたい。また、保護者同士のつながりや子ども同士の関係にも影響がでてくるのではないか。」というご意見をいただいています。心配されているご意見があることを真摯に受け止め、保育内容や教員の資質向上に今まで通り取り組んでまいります。更に、保護者同士が顔を合わせ懇親が深められるような機会を大切にまいります。 ・「夏休みの預かり保育がありがたく、他のお休みの時期も実施してもらいたい。」「早朝の保育も実施してほしい。」というご意見をいただきました。来年度も夏季休業日中の10日間の実施です。区の方針に従うとともに、保護者の方からのご意見を教育委員会に伝えていきます。 ・「夏休みの預かり保育中の荷物が多くて大変でした。」というご意見もいただきました。衛生上の問題と限られた保育日数の管理上の問題を含め、なるべく負担のない方法を検討していきたいと思っております。
<p>17 その他、幼稚園に対するご意見。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「満3歳児クラス（未就園児）があると、よいのではないか。」というご意見をいただきました。教育委員会に伝えるとともに、来年度はなかよしルーム（未就園児の会）の機会を昨年度よりも回数を増やし、未就園児の保護者の方の交流の場となったり、園での教育内容を知ってもらったりする機会をつくっていきます。 ・「降園時、学年の目印のポールはなくてもよいと思う。」というご意見をいただきました。2学期後半でもシッターさんや普段お迎えの機会の少ない方（祖父母の方など）などがいらっしゃることもあるため、お手数ではありますが、今まで通り並ぶ目印として活用していきたいと思っております。 ・「一人一人に寄り添い、大切に接してもらっている。」「毎年保育や教育に新しい取組が増え、どんどん成長する幼稚園！素晴らしいと思う。」「イベントが多く、子どもも親もワクワクしている。」「子どもたちが自ら考え、行動することを大切に、非認知能力を高める教育が素晴らしい。わが子は、毎日生き生きと通い、自己肯定感を高められたと思う。」など、温かいご意見をたくさんいただきました。今後も園の教育の質を高め、保護者の方と一緒に子どものために努めてまいります。

II 今年度の課題と次年度の方策について

保護者による教育アンケートおよび職員自己評価を基に、番町幼稚園の伝統と文化を引き継ぎ、「一人一人の子どもが輝く幼稚園」をつくるために、以下のように、改善してまいります。

<教育の質の向上>

- これまでの成果と課題を踏まえ、「特色ある教育活動」を再構成、バージョンアップしていきます。

<理由> ・平成30年より5年間、「心も元気」「日本を知ろう世界を知ろう」「自然大好き」の3つの観点から特色ある教育活動を充実させてまいりました。それぞれの活動に対し、教育効果を上げ、高い評価をいただけてまいりましたが、今までの活動を継続しつつ、番町幼稚園の教育をより充実していくために、3つの観点を再構築し、バージョンアップを図ります。

<改善点> ・令和5年度の番町幼稚園の特色ある教育活動は、子どもたちが心を動かし、主体的に環境に関わることを基本として、以下の3つの観点から実施いたします。

- 「わあ！すごい！出会い」

本物に触れる機会や多様な文化に触れる機会を大切に、豊かな感性や表現活動を展開します。

具体的な活動として、「番町ミニコンサート」「劇団風の子ワークショップ」「五人囃子の会」「障害のある方と触れ合う」などを予定しております。

- 「へえ！そうなんだ！共感」

保護者や地域の力を活用したり、共に経験したりすることで、社会に開かれた教育活動を展開します。

具体的な活動として、近隣動物病院の獣医師の方や近隣大学教授の方の来ていただく「自然について知ろう」や保護者が子どもたちと共に経験する「親子で変身」などを予定しております。

- 「え？おもしろい！創造」

多様な環境や体験の中で、幼児が十分に考えたり、試したりできる教育活動を展開します。

今まで、番町幼稚園が大切にしてきた「遊びに必要なものを自分で作る」「自ら環境に関わり、試そうとする」を充実させるために、園内の環境の大きな見直しを図ります。イタリア レッジョ・エミリア市の教育にある「アトリエ」の発想を取り入れるため、アトリエリストの方をお呼びし、子どもたちが豊かな環境に触れ、創造性を膨らませ、表現できるような環境設定や活動を行う予定です。

- 運動遊びの充実を引き続き図り、子どもたちのしなやかで、健やかな心と身体を育ててまいります。

<理由> ・本園の子どもの特徴として、失敗や負けることを恐れる気持ちから、特に身体を動かす遊びに対して、消極的になり、新しい遊びに取り組みにくい様子がありました。このことから、今年度、番町幼稚園では、「最後まで諦めずにやり抜くこの育成～幼児のやってみようの気持ち、折れない心を育てる」の研究主題の下、1年間、研究を深めました。研究と実践を積み重ねる中で、子どもが見通しをもてることで安心できること、成功例だけでなく、失敗例（うまくいかない姿）も提示することで、子どもの「できる・できない」への抵抗感を減らせることが分かりました。

<改善点> ・朝と昼食後の「スポーツタイム」と年3回の「コーディネーショントレーニング週間」を引き続き、充実させ、その中で、見通しや「うまくいなくても大丈夫」と言う気持ちをもって、安心して、新しい遊びも楽しめ、挑戦しようという気持ちをもてるよう、指導を充実させてまいります。

○ 番町小学校との連携を深め、新たな行事への参加方法を工夫していきます。

<理由> ・コロナ禍において、併設する番町小学校と以前のような交流ができない期間が続きました。直接交流ができない期間には、ICTを活用したり、手紙を書いたりするなどの連携を続けてきたことで、今年度の小学校との交流は、コロナ前よりもむしろ、充実したものとなったと感じています。令和2～3年度の小学校との合同研究終了後の本年度も、小学校と互いの授業や保育を参観し、研修を深めてまいりました。これは、番町幼稚園の大きな教育の力となっていくと考えています。

<改善点> ・交流の目的をしっかりと押さえ、互惠性のある連携、交流活動を実施し、行事の見直しを図ります。

- ・3歳児と3年生、4歳児と4年生、5歳児と5年生を交流学年とし、各学期ごとに交流活動を積み重ねます。1年間の中で、ペアとなる「お兄さん・お姉さん」を固定することで、互いの親しさを深め、小学生への憧れの気持ちを育みます。
- ・コロナ前には、共催であった「番町大運動会」の当日参加はせず、練習の見学や運動会後の交流を充実させます。幼児の実態に即した方法で、小学生の演技を見学し、「自分たちもやってみたい」という気持ちを「親子スポーツデー」につなげていきます。

<家庭との連携>

○ 預かり保育について

<理由> ・本年度、預かり保育の日数を増やし、夏季休業中にも10日間、実施いたしました。このことについて、歓迎するご意見を多数いただきました。早朝保育や長期休業中の保育の日数増加のご要望もありましたので、教育委員会に伝えてまいります。来年度は、預かりの日数等は増えませんが、内容の充実に努めてまいります。

<改善点> ○ 3歳児の預かり保育を5月12日(金)から始めます。

○ 夏季休業中に10日間実施します。

- ・本年度と同様、3歳児は、預かり保育を午後までの保育が始まる5月12日(金)より実施いたしますが、それ以前に預かり保育が必要な3歳児のご家庭につきましては、入園式の翌日からお預かりいたします。お子さんにとって、無理のないよう、また、定員25名であることをご理解いただいた上で、ご活用ください。
- ・預かり保育は、「子育ての支援」を目的とし、教育課程外ではありますが、園の教育の一環として、ねらいをもって、実施いたします。安全に、安心に、心豊かに過ごせるよう工夫してまいります。
- ・安全な保育のために、定員を25名としています。毎日、申込者数を掲示しておりますので、定員内のご利用にご協力ください。

○ 「子どもたちの育ち」の共有について

<理由> ・昨年度の保護者アンケートにおいて、「教育目標に対して、わが子がどのように育っているのか、もう少し、説明してほしい」などのご意見がありました。これを踏まえ、視点を明確にして、個人面談や学級懇談会で子どもたちの様子をお伝えするよう、工夫してまいりました。

<改善点> ・個人面談時には、本園の教育目標である「考える子」「思いやる子」「やりぬく子」の3つの視点から、また学期終わりの学級懇談時には、幼稚園教育要領にある「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の10の視点から、具体的な子どもたちの姿をお伝えしてまいります。

Ⅲ 園運営連絡会による協議結果について（学校関係者評価）

令和5年2月16日(木)に、評価委員12名の皆様(うち3名はご欠席)により、番町幼稚園運営連絡会を実施し、保護者アンケートの結果および今年度の課題と次年度の方策について、説明申し上げ、以下のようなご協議をいただきました。この結果を令和5年度の教育に生かしてまいります。

○ 保護者アンケートの結果について

- ・匿名式にもかかわらず、95%の回収率なのは、園との信頼関係の表れである。
- ・幾つかの質問に、「わからない」という回答があった。園からの説明が不足していないかの確認とともに、「わからない」という回答が保護者の無関心に繋がっていかないよう、しっかりと考えていく必要がある。保護者には、自分の子どもやその教育にしっかりと関心を持ち続けていてもらいたい。

○ 次年度の教育について

- ・ICTの活用については、驚きを感じる。今の子どもたちに必要な経験なので、一つずつ試してみることが大切である。それと同時に、昔から子どもたちが楽しんできた遊びや文化も引き続き大切にしていきたい。
- ・夜遅くまで、園の職員室の電灯がついているのを見る。行事や活動が充実していくのは素晴らしいが、職員の勤務時間が必要以上に遅くならないよう、十分に気を付けてほしい。
- ・園長の話の中にあつた「ここにしかない番町幼稚園の教育」を創っていくことに賛同する。保護者は様々な経験や職業の方がいらっしゃるので、この力も活用できるとよいのではないか。職業の話や、幼児の職業観や「夢をもつことの大切さ」などにつながるのではないか。

○ 今年度の教育について

- ・長く評価委員をやっているが、過去には、運動能力測定の結果があまり思わしくないというお話も聞いた。毎年工夫が積み重ねられていることで、子どもたちの運動能力も高まっているのだと思う。幼稚園の努力を今後も見守りたい。
- ・「親子で遊ぼう」が3年ぶりに実施できたこと、元保護者としてすごく嬉しい。父親が幼稚園に関わることで、子どもへの理解が深まり、そのことが小学校以降の親子関係や親同士の関係などにも生きてきている。
- ・幼稚園が、幼児教育について研究を深めていることを今まで知らなかった。研究についても保護者に知らせていくとよいのではないか。幼稚園の研究の中で、レジリエンスという言葉があつた。今、会社の中で求められているのは、まさにレジリエンスとクリエイティビティである。

○ 小学校との連携について

- ・幼児と児童の交流、教員同士の交流、どちらも充実している。幼稚園と小学校が同じ教育目標をもち、同じことを目指している。来年度は、番町幼稚園と番町小学校が、区内の学校に向けて、「幼小連携」の在り方について発表する予定である。
- ・幼小連携は、幼稚園の子どもにとっても、小学校の子どもにとっても、成長につながる大きな意味があると感じる。

○ 記憶を残す会の活動について

- ・記憶を残す会の保護者の方が整理してくださった資料を番町小学校同窓会で公開していただき、よかった。幼稚園同窓会は、小学校同窓会と協力しながら、できることを考えていきたい。